

「セキュア情報化社会研究」寄附研究部門

# SISOC-TOKYOグループのご紹介

2015年8月6日

東京大学大学院情報学環

特任教授

安田 浩

# 本日の内容

- 寄附講座の概要説明
- 研究陣のご紹介
- 質疑応答

# SISOC-TOKYOとは

Secure Information SOCIety Research Group

セキュア情報化社会研究グループ

サイバー空間の課題について  
文系と理系の知恵を活かし  
学際領域の研究成果を発信する。

# SISOC—TOKYOのロゴマーク



Concept:  
頭脳と知見  
視覚とセキュリティ  
波動と情報発信  
指紋と本人確認  
羅針盤と政策提言  
などを図案化したもの

新立明夫氏デザイン

# 発足の背景

- 多発するサイバーセキュリティ事案
  - 技術偏重の枠組みでは対応しきれない
- セキュリティ人材の不足
  - 最新の知識と教育のギャップ
- サイバー空間の課題の再定義の必要性
  - 対症療法でない抜本対策を
- サイバーセキュリティが直面する二つのイベント
  - マイナンバー制度とオリンピック

# 学際領域にまたがる多彩な教官陣

須藤 修	兼任教授	東京大学大学院 情報学環 教授
安田 浩	特任教授	東京大学 名誉教授 東京電機大学 特命教授
田中 秀幸	兼任教授	東京大学大学院 情報学環 教授
梅崎 太造	特任教授	名古屋工業大学大学院 教授
上野 洋一郎	特任教授	東京電機大学 情報環境学部教授
谷脇 康彦	客員教授	内閣官房審議官NISC副センター長
関口 和一	客員教授	日本経済新聞社 編集委員
松田 学	客員教授	前衆議院議員
満永 拓邦	特任准教授	JPCERT/CC マネージャー
徳田 清仁	客員研究員	株式会社ディー・ディー・エス 取締役 CTO

# 学際領域にまたがる多彩な教官陣

- 工学系と経済学系、実務者研究者のバランス
- 制度設計や行政側を知悉した陣容
- セキュリティ技術ではなくインシデントに特化
- 年齢学歴を問わない真の専門家の発掘
- 産学官のバックボーンによるサポート

# 本研究部門の新規性

- サイバー空間におけるさまざまな課題を  
自然科学と社会科学の融合領域で解決すること
- 従来の技術偏重の研究姿勢を打破する
- 如何に研究するかでなく  
何を研究するかへのシフト

# 活動内容/研究方針

- ・様々な研究課題を発掘・検討・再定義
- ・技術と制度設計にまたがる端境的な領域での研究
- ・理工学による自然科学的アプローチから  
経済学・法律学・行政学・社会学などの社会科学的  
アプローチまでの幅広い学際的研究

# 活動内容/人材育成

- ・高度セキュリティ専門家の養成
- ・ハッキング攻撃用のサイバーセキュリティプラットフォーム  
(演習用サイバーレンジ)を構築
- ・学歴年齢を問わない専門家を講師として招へい  
———ホワイトハッカーの登用
- ・ハッキング防御技術やセキュリティ耐性の評価

(別添資料参照 :セキュリティトップ人材の迅速育成への提言)

# 活動内容/情報発信と政策提言

- ・日米欧亜のセキュリティインシデントの調査分析
- ・定期的な情報発信
- ・国に対しての政策提言

# 活動の基本方針

- 学歴年齢を問わず広く国内外の人材を求める
- 民間企業からの共同研究を広く募集
- 国際的網羅的な調査研究
- 産学官連携による研究会・セミナーの開催

## TOPIC 1

# マイナンバー制度普及に向けて

- 本年10月施行の本制度の活用を促進
- 管理社会のデメリットを排除する  
制度改善を提案
- ID管理の国際標準FIDOの普及と啓発

## TOPIC 2

# オリンピック成功のために

- サイバーテロが激化するとの認識
- 技術論だけでない広範な議論の必要性
- 日本独自技術によりサイバー空間を守ることで  
**2020年東京オリンピックを成功させよう**

## TOPIC 3

# サイバーレンジとは

- 実用的な技術開発のためのテストベッド  
ーハッキング攻撃を前提とした  
サイバーセキュリティプラットフォーム
- 従来の枠組みにとらわれず国内外から  
本物のホワイトハッカーを集める
- 技術の標準化や性能評価の総本山に

# 今後のスケジュール

8月以降/

共同研究課題及び研究者・サイバーセキュリティ技術専門家の公募の開始  
ハッキング防御技術研究のためのサイバーセキュリティプラットフォームの構築

8月下旬/

セミナー「国際標準規格FIDO普及の現状/仮」開催

9月下旬/

セミナー「施行直前のマイナンバー制度を考える/仮」開催

10月下旬/

「セキュア情報化社会研究シンポジウム」開催

10月以降/

隔月の報告書(セキュア情報化戦略レポート)発行  
産学官による「セキュア情報化社会研究会」開催  
每期ごと/シンポジウム開催、サイバーセキュリティ白書の発表

# おわりに

- 安心安全な情報化社会実現のために
- 産学官の連携による研究成果を社会還元
- 情報発信の最先端機関として  
→ 既存セキュリティ研究機関と一線を画す